

北関東 異能ベンチャー



遠藤社長

ランダに事務所を開き、日本製試薬の欧州販売にも乗り出した。

主に扱うのはバイオ実験用の試薬や感染症の検査キット、研究用の細胞や組織など。製薬大手が

試薬販売ベンチャーの東京未来スタイル(茨城県つくば市)は国内では入手しにくい特殊な研究用試薬や材料などを海外から輸入し、研究機関や企業に販売している。新規性があ、医療の発展に貢献する製品を扱うと遠藤隆社長。昨年にも

東京未来スタイル

- 〈企業概要〉
- 2007年1月 立金
- 1000万円
- 6人 本業上
- 約1億円 役員高
- (2015年3月期)
- 茨城県つくば市千現2の1の6つくば研究センター内
- ▽事業概要 研究用試薬や材料、機器の輸出入など



昨年、オランダのラドバウド大学にあるインキュベーション施設に海外事務所を開設した

特殊な研究用試薬輸入

手に入らない。そんなときに同社に依頼すれば、その試薬の販売元と交渉し調達にこぎつける。遠藤社長は「メーカーでは

なく、ユーザー側の代理店になりた」と話す。大量の製品を扱う大手企業が同じ土俵には乗らな、国内ではあまりない需要をつかむ。世界各地

特殊な製品を扱う。海外のバイオベンチャーなどが開発した独自の製品を掘り出すなど、ニッチな需要をつかむ。世界各地

研究者と会話が噛み合わないという困るとバイオ関連の資格を取得した。試験を製品化した。

研究者のニーズをつかむためには地道な営業活動が欠かせない。国内外のバイオ関連の展示会に立ち、日本発の製品の売り込み拠点だ。バイオ研究が活発な欧州は「成長の

細胞上の分子の相互作用の解析などに使う新しい試薬を製品化した。

遠藤社長は「顧客の将来性に期待する。最近では中国市場も意識し始めたという。大学などに活発化する見通しで、今後のバイオ研究はさら

に活発化する見通しで、今後のバイオ研究はさら